

【 津 久 見 市 】

平成28年度 全国学力・学習状況調査結果（小学校：国語）

1 調査結果の分析

小学校：国語A

- ・平均正答率が、全国、大分県の平均正答率を下回っている。
- ・正答数11問（15問中）以上の中上位層の割合が全国、大分県に比べて低い。
- ・いずれの領域・観点においても正答率が全国、大分県を下回っている。
- ・領域別では、「読むこと」に課題が見られる。
- ・観点別でも、「読む能力」に課題が見られる。

小学校：国語B

- ・平均正答率が、全国、大分県の平均正答率を5ポイント以上下回っている。
- ・正答数7問（10問中）以上の中上位層の割合が全国、大分県に比べて低い。
- ・いずれの領域・観点においても正答率が全国、大分県を下回っている。
- ・「読むこと」「読む能力」に課題が見られる。
- ・選択式よりも記述式の方が苦手な傾向が見られる。

2 具体的な改善方策

小学校：国語A

- ・漢字の読み書き、語句や文法、基礎的な言語事項の定着を図るため、反復学習を日常的に行う。
- ・読書で知識や語彙を増やす。（学校での読書タイムや家庭での親子読書の取組）
- ・「読む」「書く」「聞く」「話す」の個々の能力をしっかりと把握し、苦手克服の個別支援を行う。
- ・ことば辞典等オリジナルな冊子を準備し、普段の授業の中で活用したり、内容を広げたりする。
- ・新大分スタンダード・生徒指導の3機能を意識した授業改善に組織的に取り組む。

小学校：国語B

- ・教科書だけではなく、新聞やテレビ・ラジオ、インターネットからの情報など幅広く取り扱い、それぞれの考えに対する自身の意見を、指定された字数内でまとめたり、指定時間内で発表させたりする活動を意識的に取り入れる。（グループ交流・全体交流）
- ・言語活動・学び合いを取り入れた授業づくりを進め、相互に意見交流できる場を多く設定し、最終目的を意識した問題解決型の学習展開を心がける。
- ・全国学力・学習状況調査B問題レベルの類似問題を取り上げ、解決への糸口や道筋を授業の中で扱っていく。
- ・「児童による授業評価」「授業視察」「津久見市学力向上に係る研修会」に基づいた授業改善PDCAサイクルを確立する。

平成28年度 全国学力・学習状況調査結果（小学校：算数）

1 調査結果の分析

小学校：算数A

- ・平均正答率は、全国、大分県を上回っている。
- ・正答数13問（16問中）以上の上位層の割合が全国、大分県に比べて高い。
- ・「数と計算」「数量関係」の領域で、正答率が全国・大分県を上回っている。
- ・「数量や図形についての技能」の正答率が全国・大分県を大きく上回っている。
- ・「図形」の領域のみ、正答率が大分県を下回っている。

小学校：算数B

- ・平均正答率が、全国、大分県の平均正答率を下回っている。
- ・正答数10問（13問中）以上の上位層の割合が全国、大分県に比べて低い。
- ・「数量や図形についての技能」のみ、正答率が全国、大分県を上回っている。
- ・「量と測定」の領域の正答率が、全国、大分県を大きく下回っている。
- ・短答式は問題ないが、記述式の解答が苦手である。

2 具体的な改善方策

小学校：算数A

- ・計算練習は、その学年で学ぶものだけでなく、学年間を飛び越えて繰り返し行い、習熟をねらう。
- ・問題に対する自分の考えを複数準備できるように、教材・教具を使用し個別支援を充実させる。
- ・問題を解く際に制限時間を設け、時間内にテンポよくかつ正確にできる力を養っていく。
- ・朝自習の時間や家庭学習において、既習の内容を単元・学年をこえてランダムに出題する。
- ・新大分スタンダード・生徒指導の3機能を意識した授業改善に組織的に取り組む。

小学校：算数B

- ・Bレベルの問題を解くとき、個々がどの部分で躓いているのか把握し、個々の児童に対する具体的な支援の方法を探る。
- ・算数で使用する専門語句を使って、自分の考えを説明させるようにする。
- ・友だちの考えを自分が説明したり、自分の考えを説明してもらったりして、相互に理解を深める。
- ・全国学力・学習状況調査B問題レベルの類似問題を取り上げ、解決への糸口や道筋を授業の中で扱っていく。
- ・「児童による授業評価」「授業視察」「津久見市学力向上に係る研修会」に基づいた授業改善PDCAサイクルを確立する。

平成28年度 全国学力・学習状況調査結果（中学校：国語）

1 調査結果の分析

中学校：国語A

- ・平均正答率は、全国、大分県を下回っている。
- ・正答数29問（33問中）以上の上位層の割合が全国、大分県に比べて低い。
- ・正答数15問（33問中）以下の下位層の割合が全国、大分県に比べて低い。
- ・領域・観点のどの項目も正答率が全国を下回っている。
- ・「書くこと」「書く能力」に苦手意識が見られる。

中学校：国語B

- ・平均正答率は、全国、大分県を上回っている。
- ・正答数9問（9問中）の最上位層の割合が全国、大分県に比べて高い。
- ・領域・観点のどの項目も正答率が全国・大分県を上回っている。
- ・短答式の正答率が全国・大分県を下回っている。
- ・記述式の正答率が全国・大分県を上回っている。

2 具体的な改善方策

中学校：国語A

- ・漢字の読み書き、語句や文法、基礎的な言語事項の定着を図るため、反復学習を日常的に行う。
- ・様々な分野の書物をバランスよく計画的に読み、感想や意見文をファイリングし、随時発表する。
- ・個々の能力をしっかりと把握し、苦手克服のための個別支援を行う。
- ・板書とノートの一体化を図り、きめ細かいノート指導を行う。
- ・新大分スタンダード・生徒指導の3機能を意識した授業改善に組織的に取り組む。

中学校：国語B

- ・Bレベルの問題を解くとき、個々がどの部分で躓いているのか把握し、個々の児童に対する具体的な支援の方法を探る。
- ・学び合いを中心に据えた授業を展開し、グループや全体の場で意見交流を行う。
- ・要点を得たまとめ方や順序や文章構成を考えた文章表現の仕方を繰り返し練習させる。
- ・全国学力・学習状況調査B問題レベルの類似問題を取り上げ、解決への糸口や道筋を授業の中で扱っていく。（長文を読み取り、順序よく解決していく力）
- ・「生徒による授業評価」「授業視察」「津久見市学力向上に係る研修会」に基づいた授業改善PDCAサイクルを確立する。

平成28年度 全国学力・学習状況調査結果（中学校：数学）

1 調査結果の分析

中学校：数学A

- ・平均正答率は、全国、大分県を上回っている。
- ・正答数36問（36問中）の最上位層の割合が全国、大分県に比べて高い。
- ・正答数13問（36問中）以下の下位層の割合が全国、大分県に比べて低い。
- ・「関数」以外の領域の正答率が全国・大分県を上回っている。
- ・観点は、どの項目も、全国・大分県を上回っている。

中学校：数学B

- ・平均正答率は、全国を下回っているが大分県を上回っている。
- ・正答数12問（15問中）以上の上位層の割合が全国、大分県に比べて低い。
- ・正答数5問（15問中）～9問の中位層の割合が全国、大分県に比べて高い。
- ・「図形」の領域の正答率が全国を大きく下回っている。
- ・記述式の正答率が全国・大分県を下回っている。

2 具体的な改善方策

中学校：数学A

- ・課題を明確にすることで、学習に対する意欲や解決への糸口、筋道等の見通しを持たせる。
- ・計算問題の反復練習ならびに図形の見方や考え方、数量関係の理解等、基本的内容の定着を図る。
- ・問題を解く際に制限時間を設け、時間内にテンポよくかつ正確にできる力を養っていく。
- ・朝自習の時間や家庭学習において、既習の内容を単元・学年をこえてランダムに出題する。
- ・新大分スタンダード・生徒指導の3機能を意識した授業改善に組織的に取り組む。

中学校：数学B

- ・Bレベルの問題を解くとき、個々がどの部分で躓いているのか把握し、個々の児童に対する具体的な支援の方法を探る。
- ・数学で使用する専門的な語句を上手に盛り込んでまとめたり説明したりする力を伸ばす。
- ・友だちの考えを自分が説明したり、自分の考えを説明してもらったりして、相互に理解を深める。
- ・全国学力・学習状況調査B問題レベルの類似問題を取り上げ、解決への糸口や道筋を授業の中で扱っていく。
- ・「生徒による授業評価」「授業視察」「津久見市学力向上に係る研修会」に基づいた授業改善PDCAサイクルを確立する。

津久見市授業力向上プロジェクト2016

～つくみっ子の夢を育む～



【プロジェクト1】【授業視察】

優れた授業実践に学ぶため、各部会全員で視察

- 小学校国語⇒1～2学期
- 小学校算数⇒1～2学期
- 中学校数学⇒1～2学期
- 中学校英語⇒1～2学期

※県の先進地視察に各部会から積極的に参加

【プロジェクト2】【学力向上推進PTの活用】

○算数・数学を中心に学力向上推進PTが「津久見市授業モデル」を作成・提示する。

- 全教職員に周知徹底し、各校で実践する。
- 「共通指導事項」「授業改善プラン」作成提示
- 各校校内研修・指導案審議に参加
- 「指導案集」の作成
- 「小中乗り入れ授業」⇒小学校外国語活動

【プロジェクト3】【学力向上に係る研修会】

○全教職員参加のもと、県又は教育事務所指導主事を招聘し、授業改善に係る講義を行う。

- 第1回⇒各分科会（小学校学年別・中学校教科別）において、2学期実施単元の指導案作成・検討を行う。
- 第2回⇒各分科会（ミドル層・若年層）において、意識改革及び授業力・生徒指導力向上の研修を行う。指導案作成・検討を行う。

- ◆新たな授業の視点
- ◆自己実践の振り返り
- ◆新たな気づき
- ◆意識改革
- ◆教科部会の活性化
- ◆各校において還流
- ◆全教職員に周知徹底
- ◆各校で実践
- ◆授業改善のPDCA

みんなで挑戦！
みんなで磨き合い！
みんなで学び合い！

授業力の向上

子どもたちの
「わかった」「できた」の
声が聞こえる授業へ

学力向上

子どもたちの夢に
向かう力
夢の実現へ

【プロジェクト4】

【学びに向かう集団づくり】

- 学びの基盤となる学級づくり・仲間づくりの研修推進
- 学習規律の確立⇒「共通指導事項」の徹底
「授業観察シート」の活用

【プロジェクト5】【授業改善への挑戦】

- 「問題解決的な展開の授業」を全教職員が学期に1回以上行う。

つくみっ子の
夢を育む！

【 津 久 見 市 】

平成28年度 全国学力・学習状況調査結果（児童・生徒質問紙）

1 調査結果の概要

児童質問紙

- ・ 基本的な生活習慣の定着状況においては、起床時刻は全国平均並みであるものの、就寝時刻がやや遅く、ばらつきが見られるとともに、朝食をしっかりととれていない児童の割合が多い。
- ・ 将来の夢や目標をしっかりと持てている児童の割合が、全国平均よりもかなり低い状況ではあるが自分にはよいところがあると感じている児童の割合は全国平均よりも高い。
- ・ 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組めていない児童の割合が全国平均よりもかなり低い。
- ・ 国語・算数ともに、B問題の解答時間が不足している児童が多いことが分かる。

児童(小6)質問紙より

数字は4段階評価(ABCD)のA評価の割合(%)

質問事項	全国	津久見市
朝食を毎日食べていますか	87.3	76.8
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	38.2	24.2
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	57.4	53.5
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	71.9	63.6
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか	25.3	24.2
自分には、よいところがあると思いますか	36.2	41.4
友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	21.2	24.2
友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	56.3	51.1

将来の夢や目標を持っていますか	68.6	57.6
学習塾(家庭教師を含む)で勉強していますか	53.9	67.7
学校に行くのは楽しいと思いますか	55.2	51.5
「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	25.8	10.1
5年生までに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	56.9	43.4
国語の勉強は好きですか	23.7	23.2
読書は好きですか	49.3	41.4
新聞を読んでいますか	8.9	6.1
国語の授業の内容はよく分かりますか	36.3	33.3
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	20.8	14.1
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	31.9	19.2
算数の勉強は好きですか	38.7	38.4
算数の授業の内容はよく分かりますか	46.7	43.4
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	44.8	35.4
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	45.5	40.4
調査問題の解答時間は十分でしたか(国語A)	52.6	43.4
調査問題の解答時間は十分でしたか(国語B)	36.2	23.2
調査問題の解答時間は十分でしたか(算数A)	53.9	49.5
調査問題の解答時間は十分でしたか(算数B)	29.2	20.2
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	71.2	69.7



全国平均より「10ポイント」以上肯定的回答が低い項目

生徒質問紙

- ・ 基本的生活習慣の定着状況においては、起床時刻・朝食の摂取は特に問題はないものの、就寝時刻が全国平均に比べると遅く、個人にばらつきが見られる。
- ・ 将来の夢や目標をしっかりと持てている生徒の割合が、全国平均よりもかなり低い状況ではあるとともに、自分にはよいところがあると感じている生徒の割合も全国平均よりも低い。
- ・ グループ活動等で、話し合いを行う際、友達の話や意見、考えを最後までしっかりと聞くことができると答えた生徒の割合が全国平均よりもかなり低い。
- ・ 国語・数学ともに、B問題の解答時間が不足している生徒が多いことが分かる。
- ・ 国語の授業の理解度は全国平均より高い割合を示しているものの、国語の勉強が嫌いと感じている生徒の割合が全国平均よりもかなり低い。

生徒(中3)質問紙より

数字は4段階評価(ABCD)のA評価の割合(%)

質問事項	全国	津久見市
朝食を毎日食べていますか	83.3	86.6
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	30.8	25.0
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	55.9	55.4
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	72.7	59.8
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	19.0	21.4
自分には、よいところがあると思いますか	27.4	17.0
友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	17.6	13.4
友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	55.1	37.5
将来の夢や目標を持っていますか	45.1	29.5
学習塾(家庭教師を含む)で勉強していますか	38.9	35.7
学校に行くのは楽しいと思いますか	48.4	45.5
「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	18.1	14.3

1・2年生のときに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	47.6	50.9
国語の勉強は好きですか	23.5	9.8
読書は好きですか	46.5	39.3
新聞を読んでいますか	6.5	2.7
国語の授業の内容はよく分かりますか	26.2	28.6
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	15.9	13.4
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	23.1	16.1
数学の勉強は好きですか	29.3	30.4
数学の授業の内容はよく分かりますか	31.7	31.3
数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	35.1	39.3
数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	32.2	24.1
調査問題の解答時間は十分でしたか(国語A)	62.6	50.9
調査問題の解答時間は十分でしたか(国語B)	48.8	27.7
調査問題の解答時間は十分でしたか(数学A)	57.2	50.9
調査問題の解答時間は十分でしたか(数学B)	34.0	26.8
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	69.3	65.2



全国平均より「10ポイント」以上肯定的回答が低い項目

2 津久見市の児童・生徒質問紙の調査結果をふまえて

○基本的生活習慣の徹底

- ・基本的生活習慣の形成のため、「津久見の子ども、みんなで守ろう！ 早寝・早起き・朝ごはん」の徹底を図る。各校で、児童・生徒質問紙の結果を踏まえ、各校の現状を把握し、改善に向けて家庭と連携した取り組みを推進していく。
- ・「通信機器の使い方～あなたと守る10か条～」を徹底することで情報機器に関する共通ルールの順守。

○学力向上プランの作成・実践

- ・各校で学力調査を分析し、改善策を共通理解し、実践する。
- ・学期ごとに、成果と課題、今後の取組についてまとめる。

○授業改善に向けて

- ・授業改善5点セットの確認・点検・改善。
- ・授業改善計画をもとにして、全教職員で授業改善のステップアップに努める。
- ・「新大分スタンダード」の実践。
- ・校内研修の充実（共通認識における協働体制の確立）
- ・言語活動の充実を図るとともにアクティブラーニング方式の創造・実践。
- ・考えを出し合う「学び合い」を取り入れた授業を進める。
- ・管理職によるさらなる授業観察および個別指導の徹底。
- ・授業観察シート、児童・生徒による授業評価の実施。
- ・全校で取り組む学習規律を確立し、徹底した取組を行い、定着を図る。
- ・学校図書館を活用した読書活動や調べ学習等を積極的に進める。
- ・小テストによる基礎基本の定着と、放課後やテスト前部活休止期間の個別指導の徹底。
- ・ドリル不足を補うため、授業や朝学習、宿題で復習問題（反復練習）を多くこなす。

○学習規律の再構築

- ・津久見市での「共通指導事項」をもとに、各校内での学習規律の徹底を図る。教室・校内環境の整備や始業終業での挨拶、挙手の仕方や発表のあり方（声の大きさ等）、学習用具の準備等、統一した取り組みを展開し定着を図る。
- ・児童会・生徒会と一体となって、主体的な取組ができるよう連携・連動した取組を進める。
- ・個々の教員の生徒指導力、学級経営力のスキルアップを図る。

○授業と結びつけた家庭学習の工夫

- ・「家庭学習のてびき」を作成し、保護者との連携を進める。
- ・家庭学習の内容を検討し、授業と連動した家庭学習を推進する。
- ・学習サポーターの活用と連携。
- ・各校での家庭学習週間の取組の充実。

○学びに向かう学級集団づくり

- ・hyper—QU（年2回 小5・6年 中1・2年）を活用した学級集団づくり。
- ・QU研修会の充実を図る。（市教委主催の研修会。各校での研修会。）
- ・学び合い・支え合い・高め合う絆強い学級集団をめざして、職員研修を深める。

【 津 久 見 市 】

平成28年度 全国学力・学習状況調査結果（学校質問紙）

1 調査結果の概要

小学校：学校質問紙

- ・私語をしない、話をきちんと聞く、授業開始のチャイムを守るなどの学習規律に関しては各小学校とも共通認識のもと、徹底した取り組みがなされている。
- ・様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問の工夫が十分にできていないとともに児童一人ひとりのよい点や可能性を見つけ、適切に評価する取り組みが全国平均よりかなり低い。
- ・国語科以外での言語活動の取組状況が不十分で、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、系統的・計画的に行われていない。

中学校：学校質問紙

- ・授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を各校とも計画的に行えている。
- ・授業の最後に学習したことを振り返る活動を各校とも計画的に行えている。
- ・生徒に対して、将来就きたい仕事や夢について考えさせる授業を行い、学校生活において生徒一人ひとりのよさや可能性を見つけ、適切に伝え評価できている。
- ・自分で調べたことや考えたことをわかりやすく文章にまとめさせたり、思考力を深めるような発問を工夫したりする指導や支援がまだまだ不十分である。
- ・国語科以外での言語活動の取組状況が不十分で、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、系統的・計画的に行われていない。

2 津久見市の学校質問紙調査の結果をふまえて

- (1) 学力向上プランの見直し改善と協働推進体制の確立（課題改善のための具体的なアプローチ）
- (2) 「わかる授業」「学び合う授業」の推進（新大分スタンダードの推進・検証・授業改善）
- (3) 授業力向上の取組（校内研修の組織・運営の見直しと各種授業力向上研修会への参加）
- (4) 個に応じたきめ細かな指導の充実（TT指導・少人数指導・習熟度別指導・個別補充指導）
- (5) 学習規律の確立（全校で共通して取り組む学習規律を確立＜児童会や生徒会と連動＞）
- (6) 家庭学習の習慣化（「家庭学習のすすめ」等により、家庭と連携した取組の推進）
- (7) 望ましい学級集団づくり（Q-U調査の結果を活用し、より絆の強い学級集団へ）
- (8) 読書活動の推進（学校図書館の活用と朝読書・家庭読書等による読書習慣の確立）

学力向上に向けてのイメージ図

「全国学力・学習状況調査」
結果を受けて

表現力・活用力



各小中学校では

